

# 野村アフリカ株投資

追加型株式投資信託／国際株式型（アフリカ型）



お申込み・投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は

## 野村證券

商号:野村證券株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号  
 加入協会:日本証券業協会／(社)投資信託協会／  
 (社)日本証券投資顧問業協会／(社)金融先物取引業協会

設定・運用は

## 野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
 加入協会:(社)投資信託協会  
 (社)日本証券投資顧問業協会

## ファンドの特色（詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

### 1. アフリカ諸国の企業の株式を実質的な主要投資対象※とし、信託財産の成長をはかることを目的として積極的な運用を行ないます。

◆ファンドは、当面、主として南アフリカ、エジプト、モロッコの企業の株式に投資します。なお、それ以外のアフリカ諸国の企業の株式へも投資する場合や、アフリカ諸国以外の金融商品取引所に上場されているアフリカ諸国の企業の株式にも投資する場合があります。この場合も主要投資対象として投資を行ないます。(平成20年2月7日現在のものであり、市場環境等によっては変更となる場合があります。)

※ファンドは、「野村アフリカ株投資マザーファンド」を親投資信託(「マザーファンド」といいます。)とするファミリーファンド方式で運用します。「実質的な主要投資対象」とは、マザーファンドを通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

### 2. 株式への投資にあたっては、定量評価に基づく個別銘柄の投資魅力度等の判断に加え、企業訪問を含む定性評価に基づくファンダメンタル分析により、収益性、成長性、財務安定性および株価の割安性などを総合的に勘案して選択した銘柄に投資します。

◆上場投資信託(ETF)や不動産投信(REIT)の性質を有する投資信託証券にも信託財産の純資産総額の5%を上限に投資する場合があります。また、アフリカ諸国の企業の株式にかかる指数を対象とした有価証券指数等先物取引や有価証券店頭指数等スワップ取引を適宜活用する場合があります。

### 3. 株式の実質組入比率は、原則として高位を基本とします。

◆現地市場が休場等の場合や市況動向によっては、一時的に実質株式組入比率を引き下げる場合があります。

### 4. 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。

(注)資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

#### 当資料で用いた主な指数について

MSCIワールド、MSCIエマージング・マーケット、MSCIオールカントリー各国の各インデックスはMSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

## 投資リスク（詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。）

ファンドは株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。

**投資リスク** 当ファンドの基準価額変動要因は下記に限られるのではなく、この他に「信用リスク」、「有価証券の貸付等におけるリスク」等があります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

<基準価額の主な変動要因>

### ◆株価変動リスク◆

ファンドは、株式の実質組入比率を原則として高位とすることを基本としますので、株価変動の影響を大きく受けます。また、ファンドが実質的に投資する国の株式市場は、先進国の株式市場に比べ、一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。

### ◆カントリーリスク◆

ファンドが実質的に投資する国の経済状況は、先進国経済に比較して脆弱である可能性があります。そのため、当該国のインフレ、国際収支、外貨準備高等の悪化、また、政治不安や社会不安あるいは他国との外交関係の悪化などが株式市場や為替市場に及ぼす影響は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。さらに、政府当局による海外からの投資規制など数々の規制が緊急に導入されたり、あるいは政策や税制の変更等により証券市場が著しい悪影響を被る可能性もあります。

### ◆為替変動リスク◆

実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

## その他の留意点（詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。）

### その他の留意点

- ファンドが実質的に投資する国においては、当該国のインフレ、国際収支、外貨準備高等の悪化、また、政治不安や社会不安あるいは他国との外交関係の悪化などが株式市場や為替市場に及ぼす影響は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。さらに、政府当局による海外からの投資規制など数々の規制が緊急に導入されたり、あるいは政策の変更等により証券市場が著しい悪影響を被る可能性もあります。上記のような投資環境変化の内容によっては、ファンドでの新規投資の中止や大幅な縮小をする場合があります。
- 当面の主要投資対象国以外に投資を行なうこと等により、基準価額の変動要因に記載されているリスク以外のリスクが生じる可能性があります。
- 市場の急変時等には、ファンドの特色に従った運用ができない場合があります。
- ファンドは、実質的な株式の組入れが高位となるよう投資を行なうことを基本としますが、設定当初においてや株式市場および為替市場の市場動向、ファンドの資金動向等によっては、このような運用ができない場合があります。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドに追加設定・解約等に伴う資金変動等があり、その結果、当該マザーファンドにおいて売買等が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。
- 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、買付及び換金のお申込みの受付けを中止すること、および既に受付けた買付及び換金のお申込みの受付けを取り消す場合があります。



投資環境

# 世界の投資家の注目が集まるアフリカ

アフリカは近年急速に近代化が進んでいるため、世界中の投資家の注目が集まっています。当ファンドはこのようなアフリカに注目して投資を行ないます。

## 欧米や中東などからの投資拡大

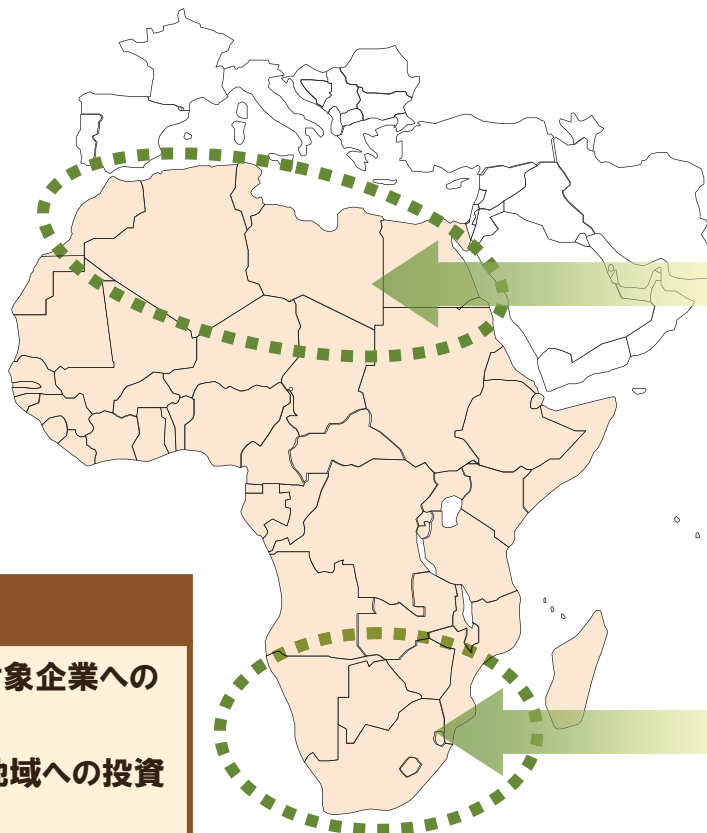
- レアメタル(希少金属)の世界的な需要拡大。
- 世界的なM&Aの流れがアフリカにも波及。優良企業は買収のターゲットに。
- 「中東市場の玄関口」(エジプト)へ中東のオイルマネー等の資金流入。

(注)上記はすべての投資拡大の内容を記載したものではありません。

## 当ファンドによる投資機会

- ◆ 世界有数の資源企業など日本には無い投資対象企業への投資機会の提供
- ◆ 日本の個人投資家にとってアクセスが困難な地域への投資機会の提供

(注)上記はすべての投資機会の内容を記載したものではありません。



## アフリカ北部地域の特徴

EU圏や中東諸国と地理的・文化的に密接な関係を持つ。エジプト、モロッコを中心に力強い成長を続けている。

## アフリカ南部地域の特徴

貴金属やレアメタルなど天然資源を経済の柱にしている国が多い。南アフリカでは金融・通信などの分野にも有力企業が多い。

(注)上記の円囲みは南北アフリカの各地域をイメージ的に表したものであり、正確性を保証するものではありません。

当資料は、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。当ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に投資します(また、外貨建資産に投資しますので為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

投資環境

当ファンドの投資対象国

当ファンドは、当面は主として南アフリカ、エジプト、モロッコの3カ国の企業の株式に投資を行います。

主な投資対象3カ国

モロッコ王国	
面積	約44万km <sup>2</sup> (日本の約1.2倍)
人口	約3,100万人 (2007年予想)
GDP	約727億ドル (2007年予想)
通貨	モロッコ・ディルハム

モロッコ王国



エジプト・アラブ共和国

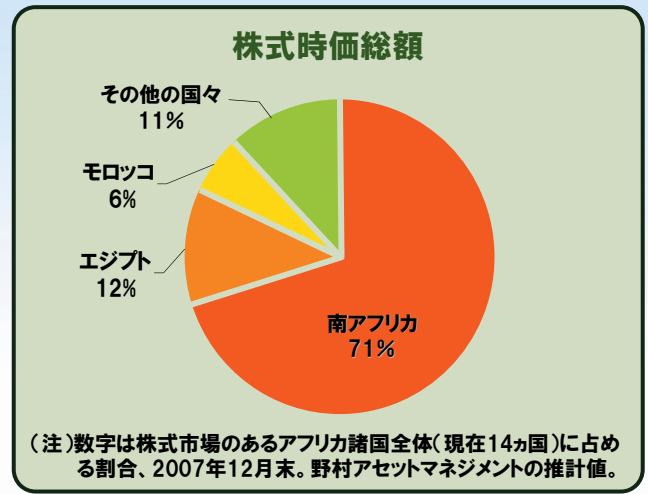
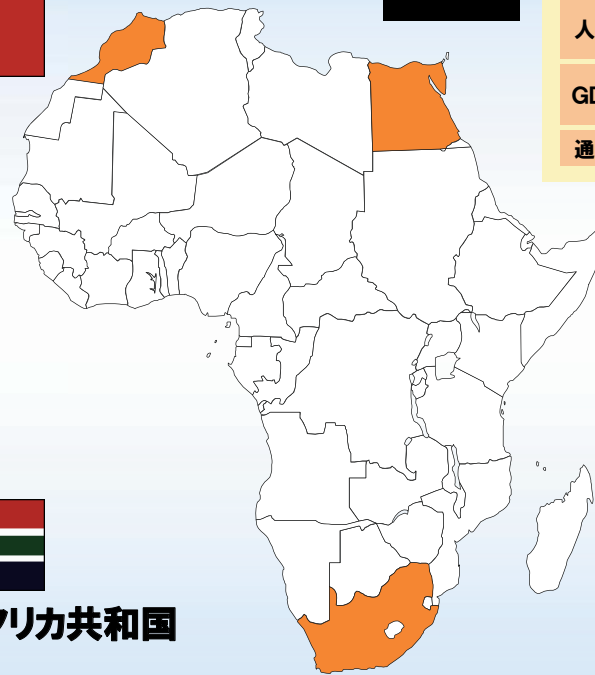
エジプト・アラブ共和国	
面積	約100万km <sup>2</sup> (日本の約2.6倍)
人口	約7,400万人 (2007年予想)
GDP	約1,279億ドル (2007年予想)
通貨	エジプト・ポンド



南アフリカ共和国	
面積	約122万km <sup>2</sup> (日本の約3.2倍)
人口	約4,800万人 (2007年予想)
GDP	約2,745億ドル (2007年予想)
通貨	南アフリカ・ランド



南アフリカ共和国



主な新興国との時価総額比較

アフリカ			
約130兆円(約1,600銘柄)			
ブラジル	ロシア	インド	中国
約153兆円	約148兆円	約203兆円	約413兆円
(約400銘柄)	(約400銘柄)	(約4,890銘柄)	(約860銘柄)

(出所)外務省HP掲載データ、IMFデータより野村アセットマネジメント作成

(注)ブラジルはサンパウロ、ロシアはRTS、インドはムンバイ、中国は上海の各証券取引所が対象。浮動株未調整、2007年12月末。アフリカの時価総額は野村アセットマネジメントの推計値、2007年12月末、銘柄数は2006年末時点。

当資料は、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。当ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に投資します(また、外貨建資産に投資しますので為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

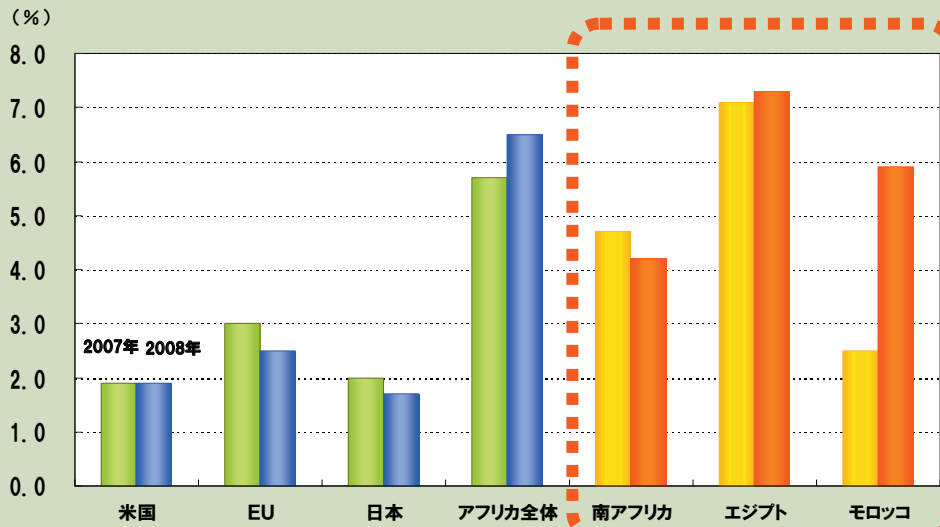
投資環境

高い成長が期待されるアフリカ経済

現在アフリカ諸国は年率6%近くの経済成長を遂げており  
主要先進国を大きく上回っています。

当ファンドの投資対象3カ国で、株式市場のあるアフリカ  
諸国全体の約60%の経済規模を占めます。

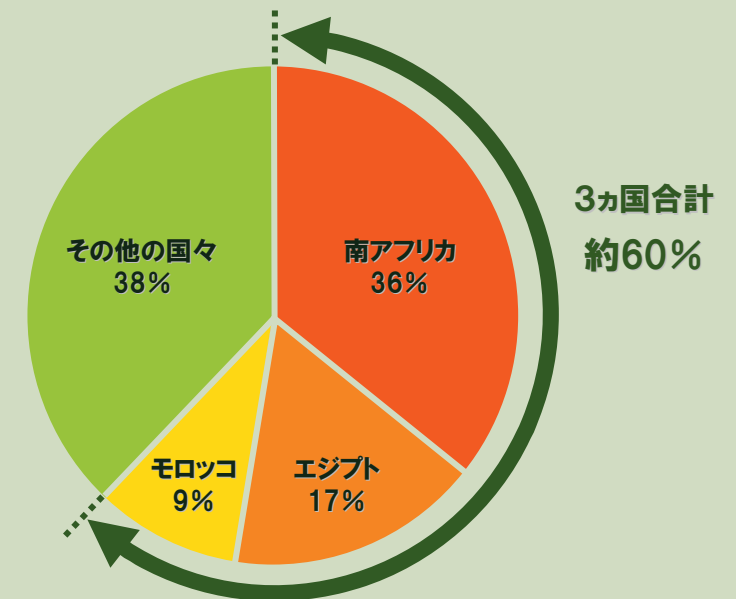
主要国のGDP成長率比較



(注)いずれも予想値。

(出所)IMFデータより野村アセットマネジメント作成

アフリカ諸国の経済規模(GDP)



(注)数字は株式市場のあるアフリカ諸国全体(現在14カ国)に占める割合。GDPは2007年予想値。

(出所)IMFデータより野村アセットマネジメント作成

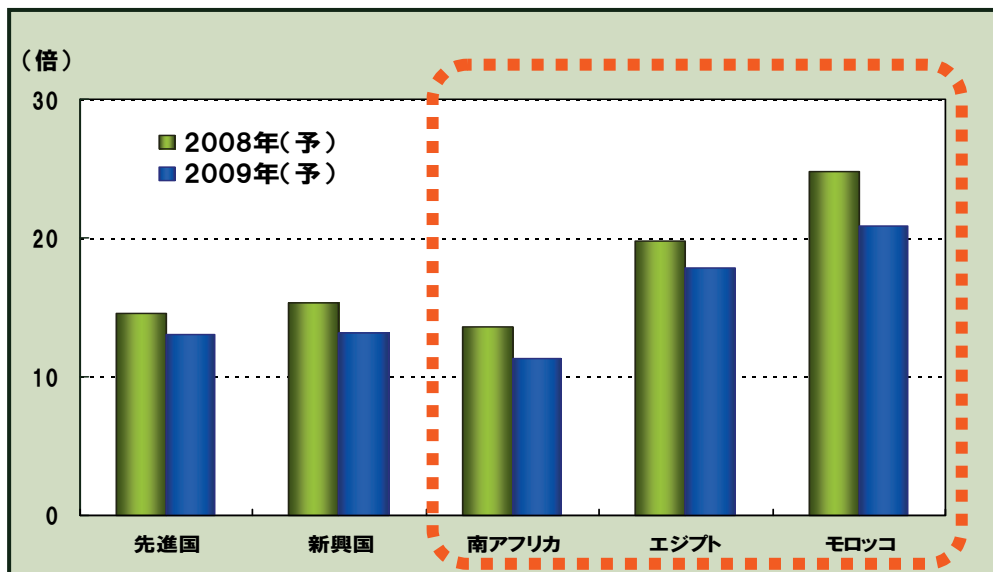
当資料は、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。当ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に投資します(また、外貨建資産に投資しますので為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

投資環境

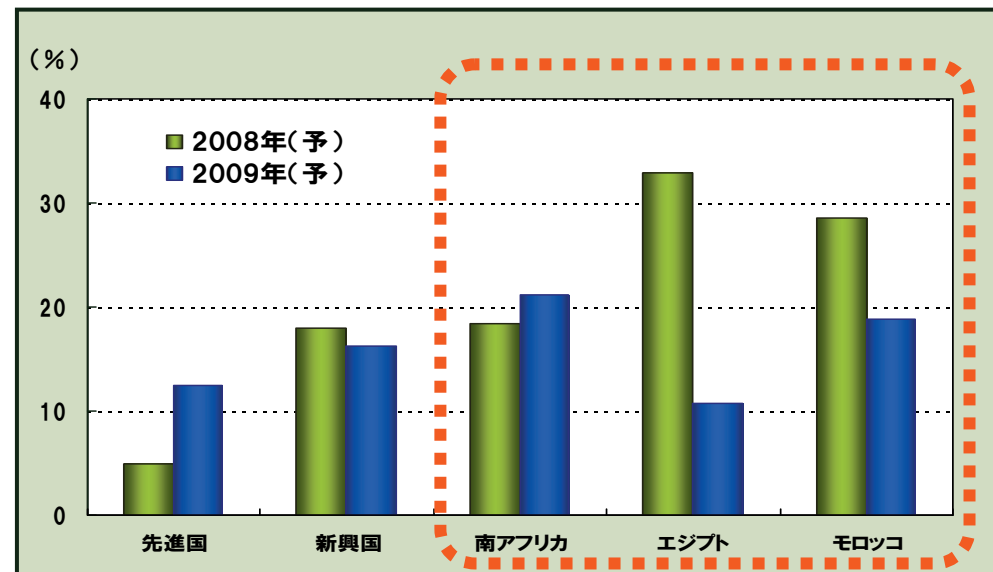
# 株価収益率と企業増益率の各国比較

当ファンドの主要投資対象国の1つである南アフリカ株式市場のPERは、他の国の株式市場と比較しても割高感はないと考えます。また南アフリカにおける今後の企業収益の伸びは20%程度と予想され、投資魅力度の高さに着目しています。

株価収益率(予想PER)



企業収益の伸び(予想EPS成長率)



(注)先進国はMSCIワールド、新興国はMSCIエマージングマーケット、南アフリカ・エジプト・モロッコはMSCIオールカントリー各国別の各インデックス構成銘柄が対象。いずれもI/B/E/S(アイベス)による予想値。

(注)上記資料作成時点のデータであり、将来の実績等を示唆あるいは保証するものではありません。

(出所)FactSetデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。当ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に投資します(また、外貨建資産に投資しますので為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

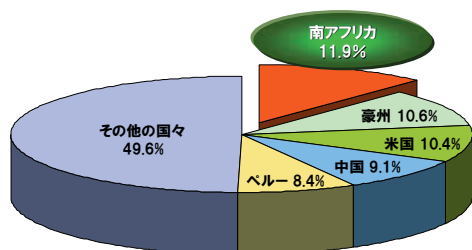


投資環境

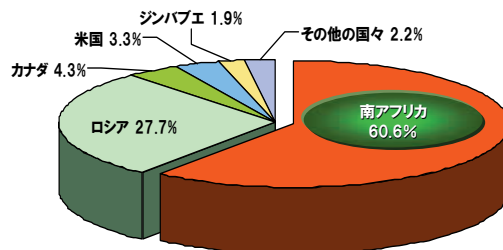
天然資源大国の南アフリカ

南アフリカは豊富な天然資源産出国です。金やプラチナ、さらには工業製品の生産に欠かせない主なレアメタル（希少金属）の世界第一位の産出国です。

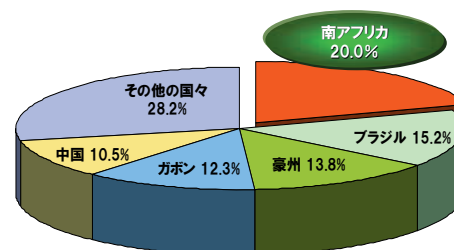
世界の「金」産出国



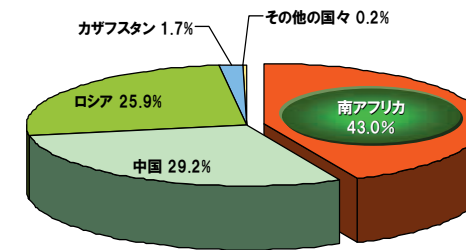
世界の「プラチナ」産出国



世界の「マンガン」産出国



世界の「バナジウム」産出国



	金		プラチナ		マンガン		バナジウム	
1	南アフリカ	11.9%	南アフリカ	60.6%	南アフリカ	20.0%	南アフリカ	43.0%
2	豪州	10.6%	ロシア	27.7%	ブラジル	15.2%	中国	29.2%
3	米国	10.4%	カナダ	4.3%	豪州	13.8%	ロシア	25.9%
4	中国	9.1%	米国	3.3%	ガボン	12.3%	カザフスタン	1.7%
5	ペルー	8.4%	ジンバブエ	1.9%	中国	10.5%	その他の国々	0.2%

(注)数字は世界の生産量合計値に対する各国の比率、2005年実績値。

(注)マンガンやバナジウムは鉄などの鋼材の強度を上げる材料として使われる。またマンガンは乾電池の原料としても使われる。

(出所)「世界国勢図会(2007/2008)」より野村アセットマネジメント作成

当資料は、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。当ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に投資します(また、外貨建資産に投資しますので為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

投資環境

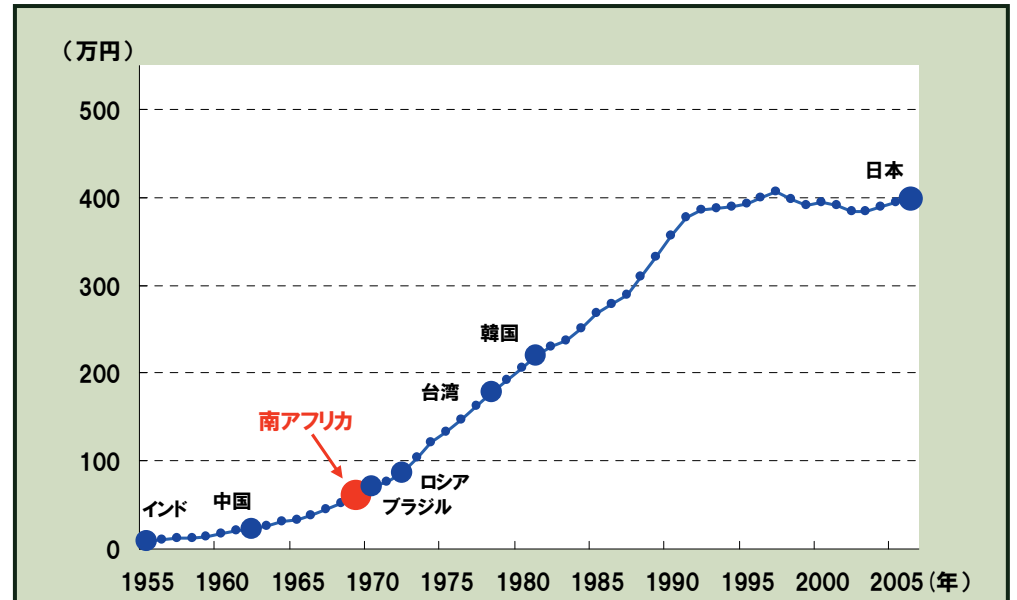
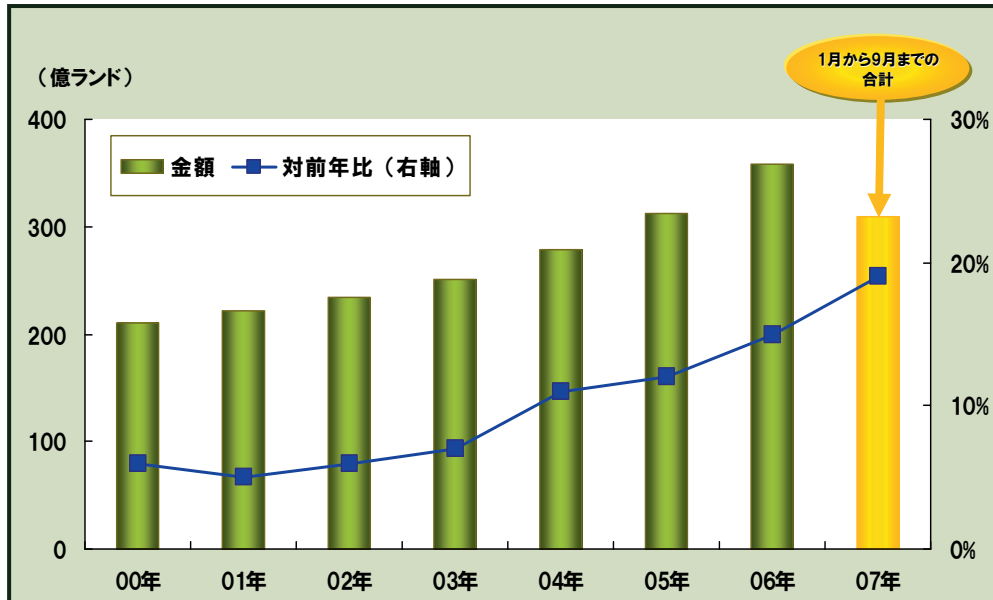
# 内需拡大が期待できる南アフリカ

2010年にサッカーワールドカップの開催を控え、インフラ関連予算が大きく増えています。国内の建設需要が年率20%程度で増加しています(2007年予想)。

現在の南アフリカは一人あたりGDPで見ると日本の1970年頃に相当します。

建設関連の投資額の推移

日本の一人あたりGDP推移と主な新興国の水準比較



(注)GDP産業別構成の1項目である建設業の金額。2007年の金額は第1四半期から第3四半期までの合計値、伸び率は2006年の第1四半期から第3四半期までの合計値との比較。

(出所)南アフリカ政府統計データより野村アセットマネジメント作成

(注) MSCI エマージング・マーケット・インデックス構成比率上位の市場につき、1955年～2006年までの日本の一人あたりGDP水準に最も近い点を表わしたものの。日本は2006年実績値、その他の国は2007年予想値。ドル建てGDP値を2007年末の為替レートで円換算。

(出所)IMFデータから野村アセットマネジメント作成

当資料は、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。当ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に投資します(また、外貨建資産に投資しますので為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

投資環境

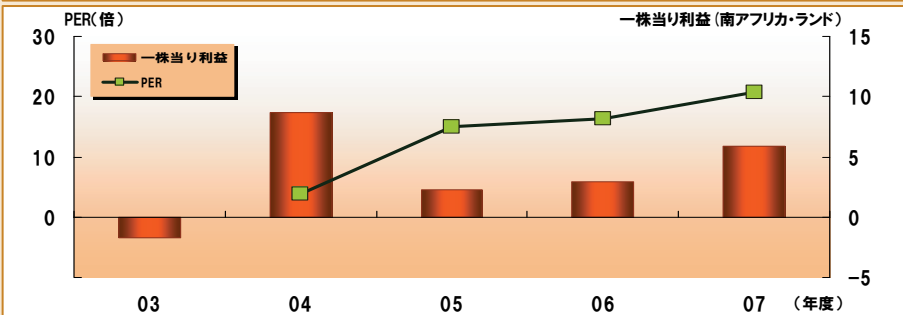
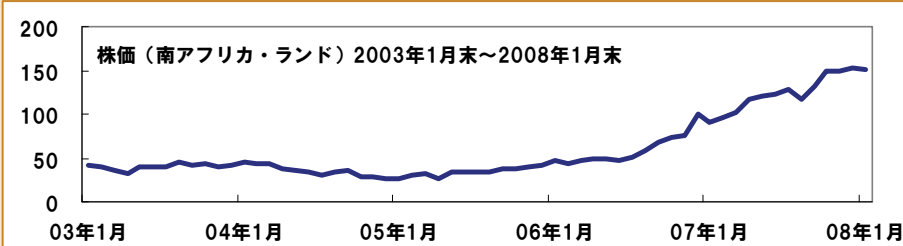
南アフリカ(代表的な銘柄例)

アフリカン・レインボー・ミネラルズ



**会社概要:**  
南アフリカの鉱業持株会社。  
グループ会社である鉱山会社を通じて、鉄、プラチナ、金、  
卑金属類の採掘を行なっている。

**時価総額:**  
約320億南アフリカ・ランド (約4,540億円)

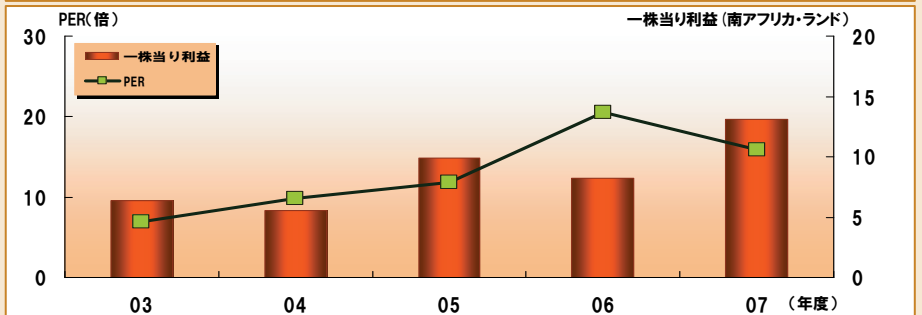


インパラ・プラチナ・ホールディング



**会社概要:**  
南アフリカの鉱業持株会社。プラチナ、バナジウム、ニッケルなどの金  
属を採掘、生産、販売を行なっている。プラチナ鉱山の経営も行なっ  
ている。

**時価総額:**  
約1,754億南アフリカ・ランド (約2兆5,000億円)



(注)上記の銘柄は、野村アフリカ株投資マザーファンドの組入上位銘柄または当該株式市場における時価総額上位銘柄の中から選定しています。1ランド=14.2円で換算、2008年1月末現在。  
(注)上記のコメントなどは特定の銘柄の株価上昇・株価下落を示唆するものでも、その推奨を目的としたものでもありません。当ファンドの将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
(出所)ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。当ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に投資します(また、外貨建資産に投資しますので為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

投資環境

南アフリカ(代表的な銘柄例)

サソル

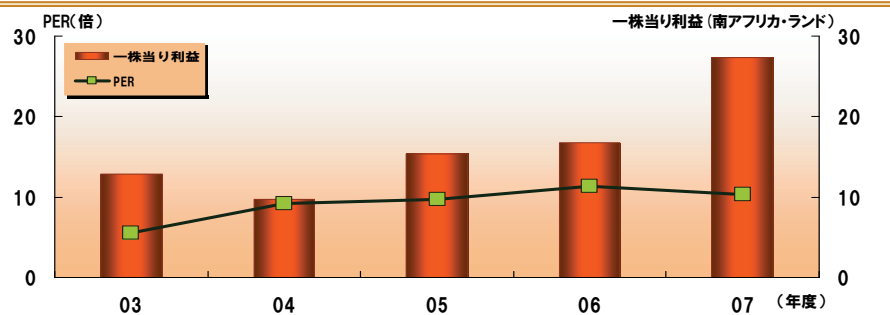
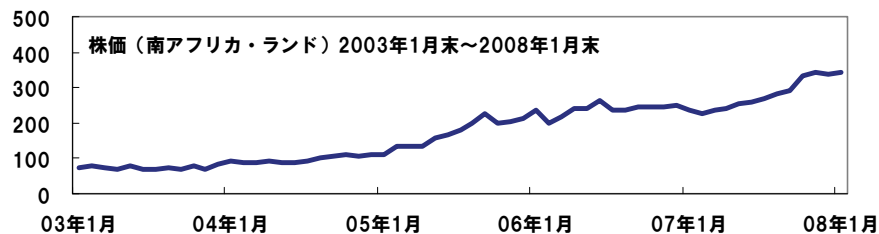


会社概要:

アフリカ最大のエネルギー関連企業。  
石炭を原料に液体燃料の精製を行なっている。  
2002年より中国政府と事業協力関係にある。

時価総額:

約2,240億南アフリカ・ランド (約3兆1,800億円)



MTNグループ

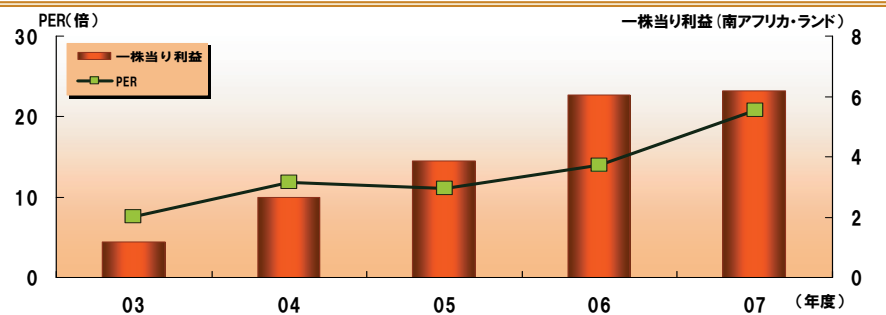
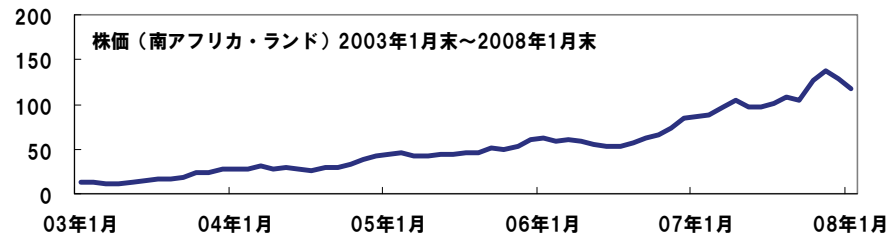


会社概要:

アフリカ最大の移動体通信会社。  
積極的なM&Aを行ない、アフリカ全域および  
中東地域等21ヵ国(人口約5億人)でビジネスを展開中。

時価総額:

約2,190億南アフリカ・ランド (約3兆1,100億円)



(注)上記の銘柄は、野村アフリカ株投資マザーファンドの組入上位銘柄または当該株式市場における時価総額上位銘柄の中から選定しています。1ランド=14.2円で換算、2008年1月末現在。

(注)上記のコメントなどは特定の銘柄の株価上昇・株価下落を示唆するものでも、その推奨を目的としたものでもありません。当ファンドの将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

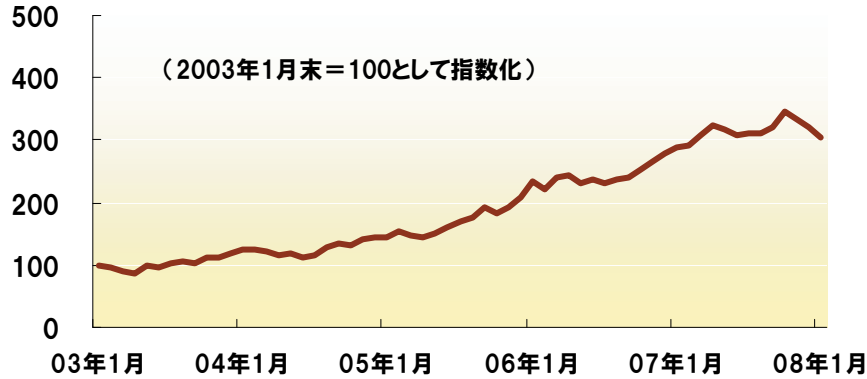
(出所)ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。当ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に投資します(また、外貨建資産に投資しますので為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

投資環境

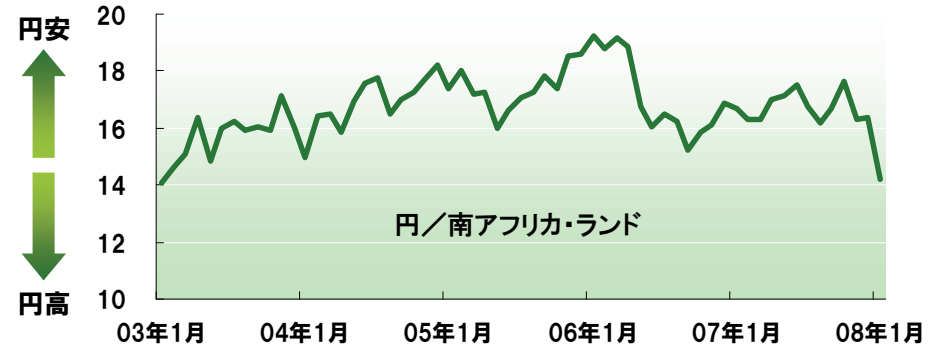
南アフリカの株式市況と為替動向など

株価指数推移(期間:2003年1月末~2008年1月末)



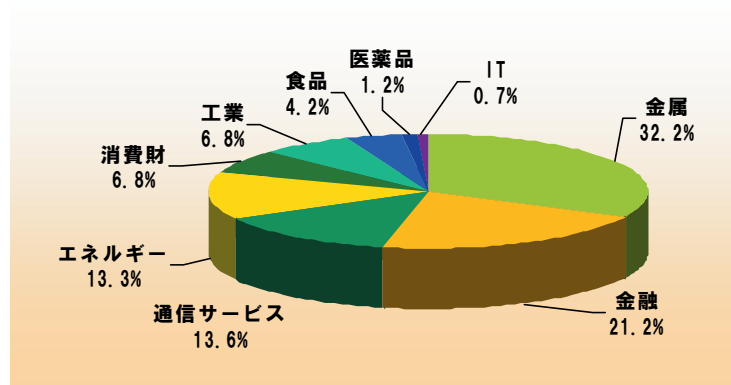
(注)MSCI南アフリカインデックス、現地通貨ベース。  
(出所)FactSetデータより野村アセットマネジメント作成

為替推移(対円レート)(期間:2003年1月末~2008年1月末)



(出所)FactSetデータより野村アセットマネジメント作成

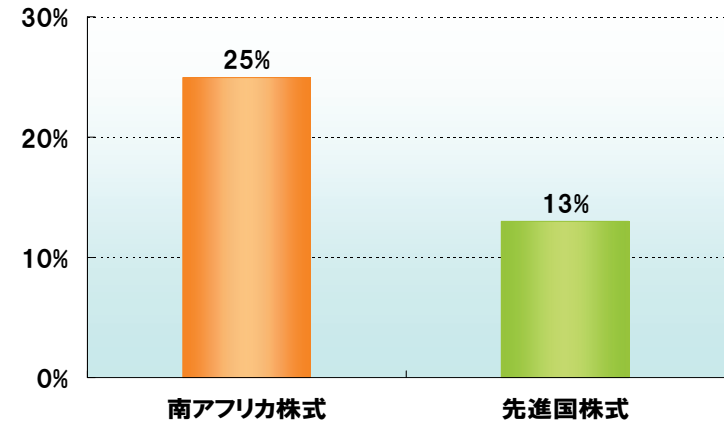
株価指数の業種別構成(2008年1月末)



(注)MSCI南アフリカインデックス、現地通貨ベース。  
(出所)FactSetデータより野村アセットマネジメント作成

(注)将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

株式のリスク(期間:2003年1月末~2008年1月末)



(注)株式のリスクは、MSCI南アフリカ インデックス(円ベース)およびMSCIワールド インデックス(円ベース)の月次リターン標準偏差、年率換算。(出所)ブルームバーグ、FactSetデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。当ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に投資します(また、外貨建資産に投資しますので為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様にご帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡す投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

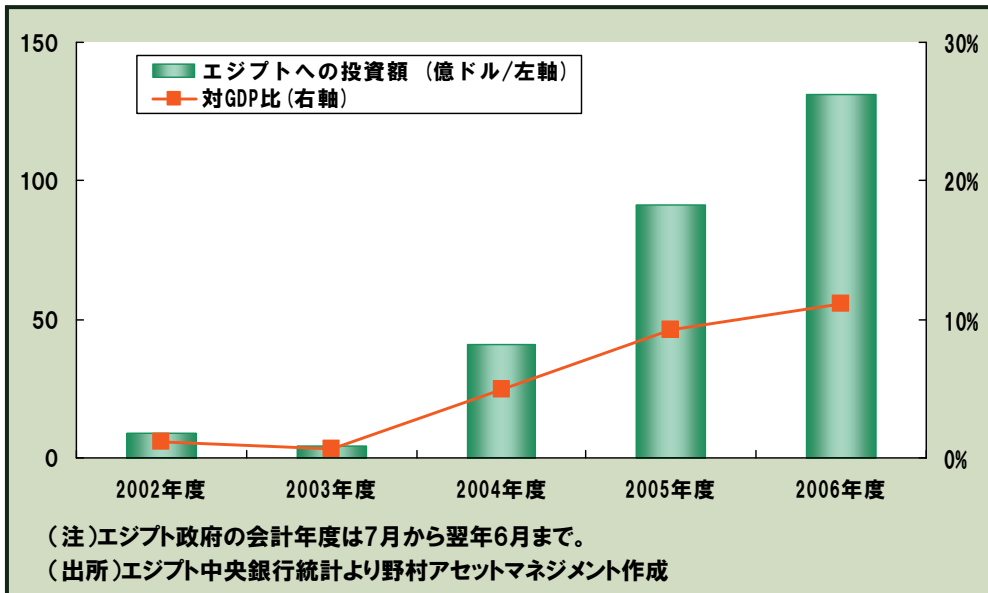


投資環境

「中東市場の玄関口」としてのエジプト、株式市況など

- エジプト政府は「中東市場の玄関口」「海外企業の製造拠点」を掲げ成長戦略を推進しています。
- 法人税率などを大幅に引き下げて外国資本の呼び込みを積極的に行っており、海外からの直接投資額は過去4年間で約15倍に増加しています。

エジプトへの直接投資額の推移

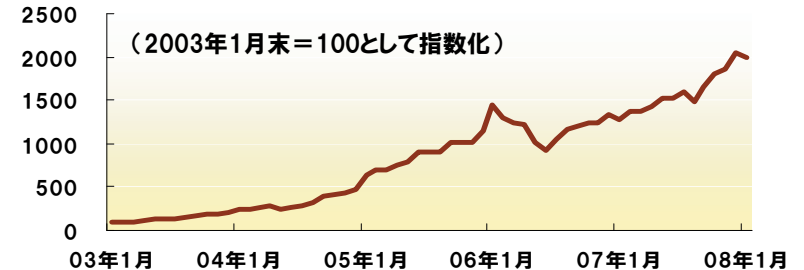


(ご参考)エジプトの通貨について

通貨単位はエジプト・ポンド。2003年1月に変動相場制に移行したが、現在、証券投資に際してはエジプト当局による通貨規制が行なわれている。

(注)将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

株価指数推移(期間:2003年1月末~2008年1月末)



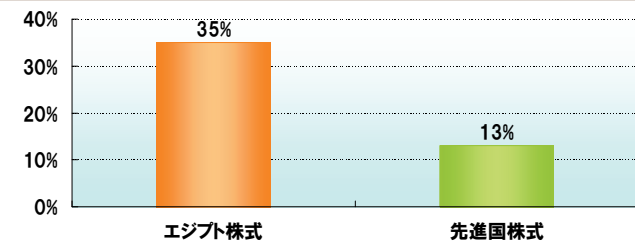
(注)MSCIエジプトインデックス、現地通貨ベース。(出所)FactSetデータより野村アセットマネジメント作成

為替推移(対円レート)(期間:2003年1月末~2008年1月末)



(出所)FactSetデータより野村アセットマネジメント作成

株式のリスク(期間:2003年1月末~2008年1月末)



(注)株式のリスクは、MSCIエジプト インデックス(円ベース)およびMSCIワールド インデックス(円ベース)の月次リターン(標準偏差、年率換算)。(出所)ブルームバーグ、FactSetデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。当ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に投資します(また、外貨建資産に投資しますので為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡す投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

投資環境

エジプト(代表的な銘柄例)

オラスコム・コンストラクション

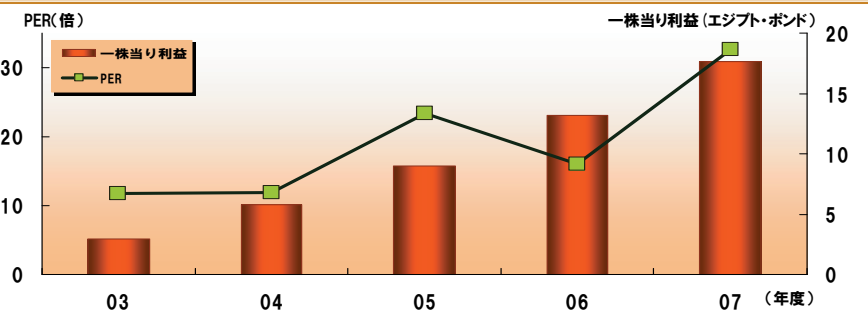


会社概要:

エンジニアリング、建設などのサービスを提供する大手ゼネコン。エジプトや中東地域を中心に公共・民間のインフラ建設などを手がけている。

時価総額:

約1,150億エジプト・ポンド (約2兆2,000億円)



テレコム・エジプト

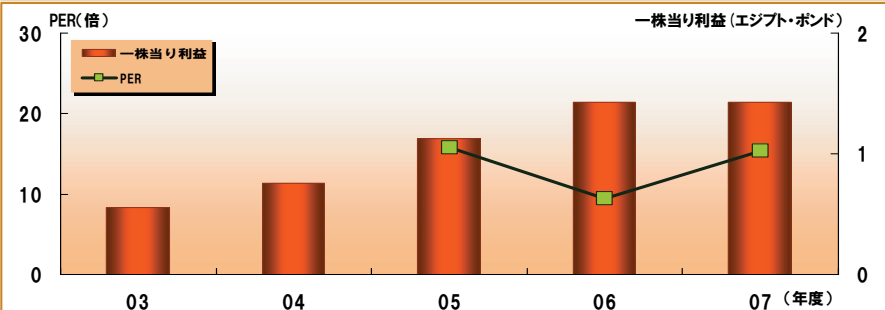
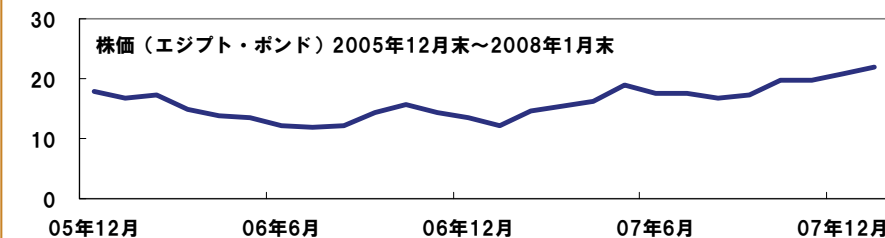


会社概要:

エジプトの通信サービス会社。中東地域における最大手の固定電話サービス会社でもある。ボーダフォン・エジプトを通じ、携帯電話事業も行なっている。

時価総額:

約370億エジプト・ポンド (約7,100億円)



(注)上記の銘柄は、野村アフリカ株投資マザーファンドの組入上位銘柄または当該株式市場における時価総額上位銘柄の中から選定しています。1エジプト・ポンド=19.1円で換算、2008年1月末現在。  
 (注)上記のコメントなどは特定の銘柄の株価上昇・株価下落を示唆するものでも、その推奨を目的としたものでもありません。当ファンドの将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
 (出所)ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。当ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に投資します(また、外貨建資産に投資しますので為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

投資環境

モロッコ(代表的な銘柄例)、株式市況など

アフリカ大陸初の高速鉄道(仏・TGV)建設が決定。総工費は20億ユーロ(約3,000億円)、2010年完成を目指します。これにより鉄道インフラ整備、輸送力増強が一気に加速されるものと期待されています。

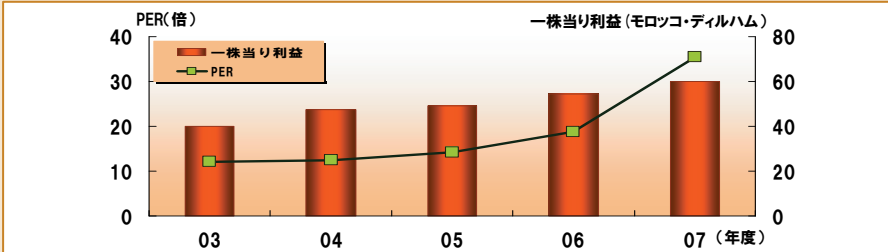
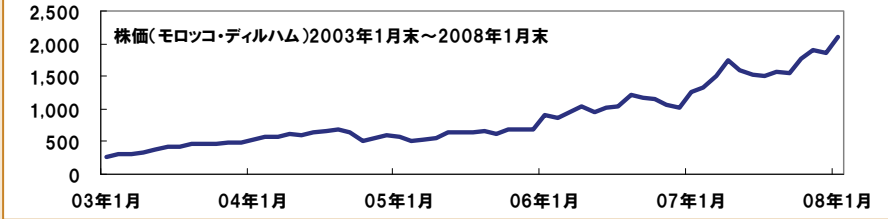
ラファージュ・セメント

会社概要:

モロッコの資源・建設資材会社。北アフリカ、西欧州を中心に事業展開を行なっている。セメント事業(生産・販売)が売上高全体の約半分を占める。

時価総額:

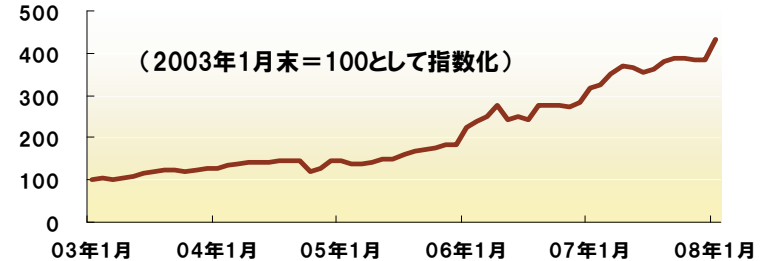
約370億モロッコ・ディルハム(約5,100億円)



(注)上記の銘柄は、野村アフリカ株投資マザーファンドの組入上位銘柄または当該株式市場における時価総額上位銘柄の中から選定されています。1モロッコ・ディルハム=13.8円で換算、2008年1月末現在。上記のコメントなどは特定の銘柄の株価上昇・株価下落を示唆するものでも、その推奨を目的としたものでもありません。当ファンドの将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

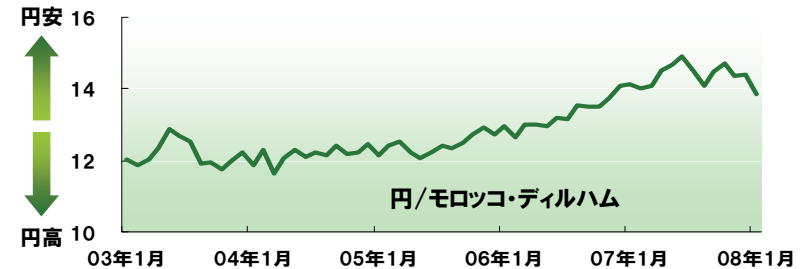
(出所)ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

株価指数推移(期間:2003年1月末~2008年1月末)



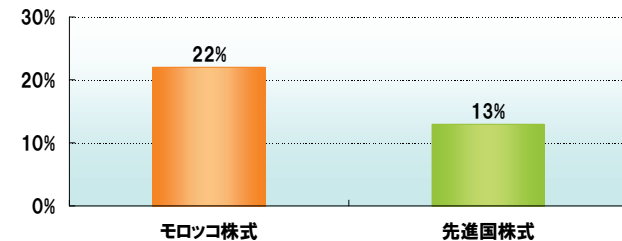
(注)MSCIモロッコ インデックス、現地通貨ベース。(出所)FactSetデータより野村アセットマネジメント作成

為替推移(対円レート)(期間:2003年1月末~2008年1月末)



(出所)FactSetデータより野村アセットマネジメント作成

株式のリスク(期間:2003年1月末~2008年1月末)



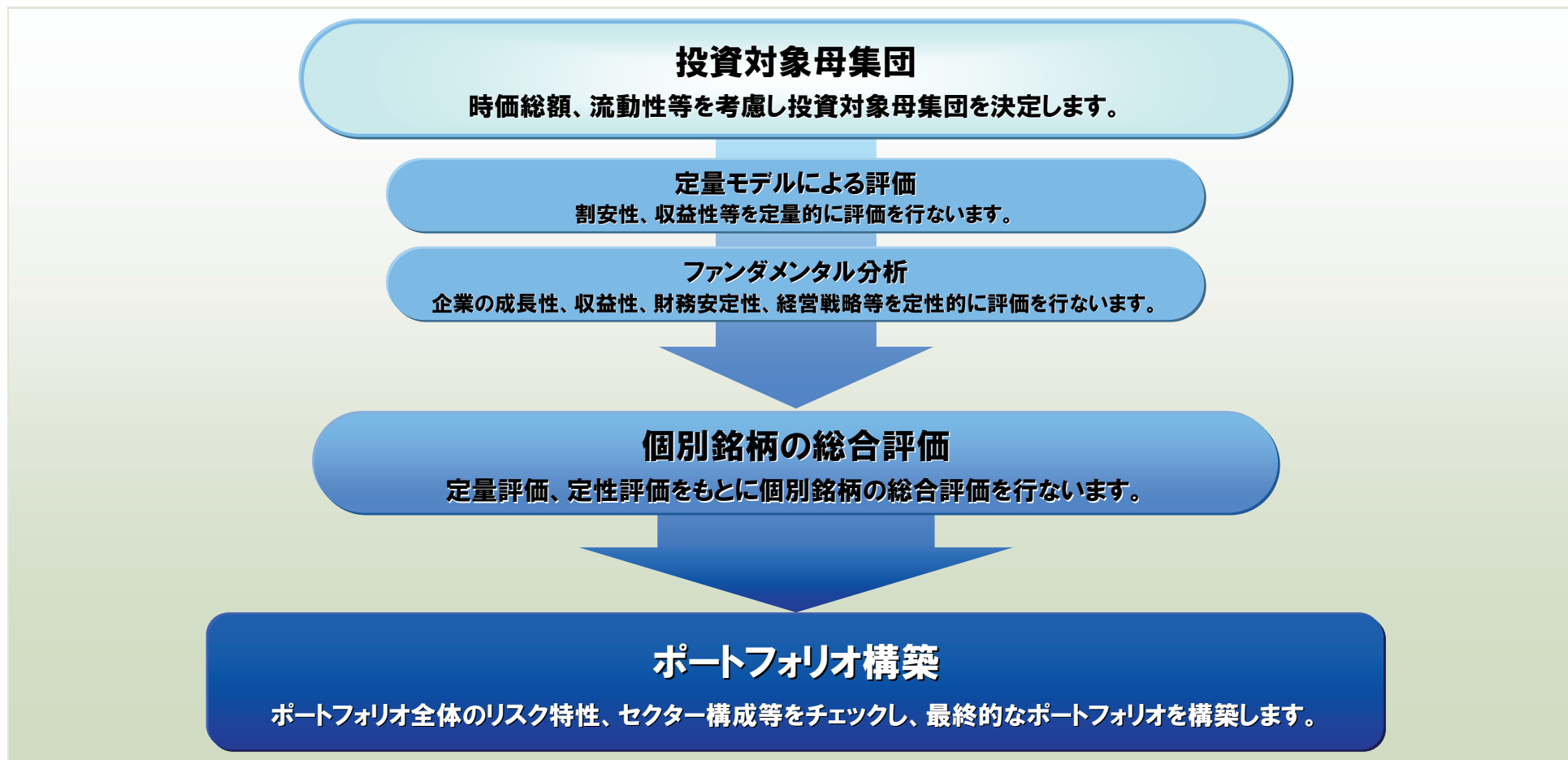
(注)株式のリスクは、MSCIモロッコ インデックス(円ベース)およびMSCIワールド インデックス(円ベース)の月次リターンの標準偏差、年率換算。(出所)ブルームバーグ、FactSetデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。当ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に投資します(また、外貨建資産に投資しますので為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

## 商品説明

## 当ファンドの当面のポートフォリオ構築プロセス

## 当面のポートフォリオ構築プロセス



(注)上記は、当ファンドの当面のポートフォリオ構築プロセスについて記載したものです。2008年2月7日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

(注)資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

当資料は、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。当ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に投資します(また、外貨建資産に投資しますので為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

商品説明

マザーファンドの運用実績（2007年12月末時点）

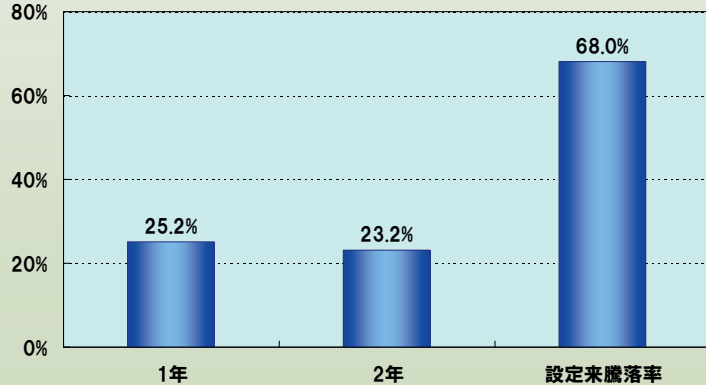
下記は、当ファンドの主要投資対象である「野村アフリカ株投資マザーファンド」の運用実績です。

設定来の基準価額推移

（期間：2005年11月18日（設定日）～2007年12月末）

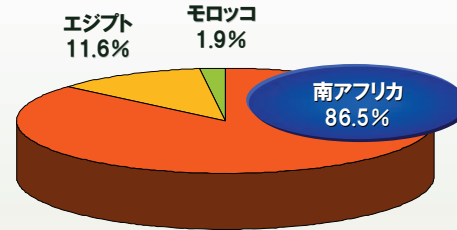


期間収益率と設定来騰落率

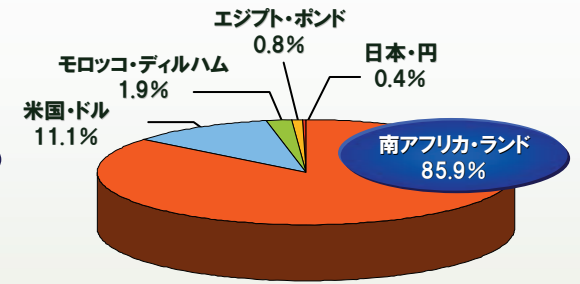


（注）期間収益率の各計算期間は、2007年12月末から過去に遡った期間としています。年率平均（複利ベース）。

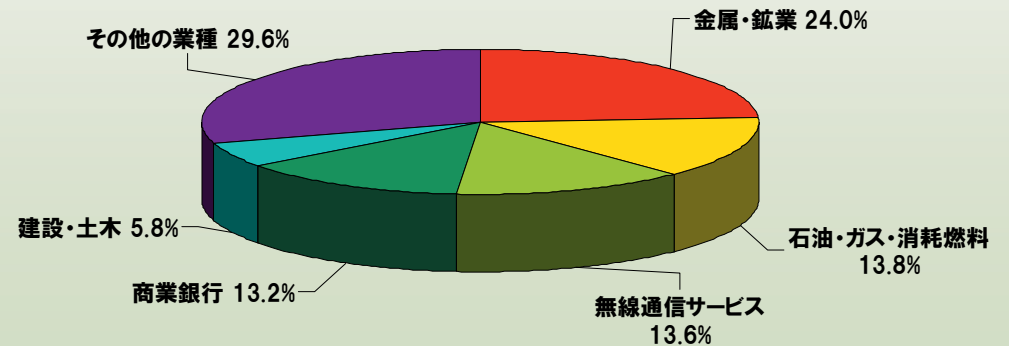
国別比率



通貨別比率



業種別比率



（注）上記は、当ファンドの投資対象である「野村アフリカ株投資マザーファンド」の運用実績です。課税前・費用控除前。国別は原則所在地国で区分。国別比率及び業種別比率は現金等を除いた株式部分を100%とした場合の比率。四捨五入のため比率の合計値が100%とならない場合があります。

（注）上記は過去の運用実績であり、当ファンドの将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。当ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に投資します（また、外貨建資産に投資しますので為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様様に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書（交付目録見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。



## 商品説明

## マザーファンドの組入上位10銘柄（2007年12月末時点）

## 組入上位10銘柄

銘柄名	国	業種	銘柄解説	純資産比率
SASOL LTD サンソル	南アフリカ	石油・ガス・消耗燃料	石炭と原油を原料とする液体燃料、パイプラインガス、石油化学品、プラスチック、肥料、ワックス、鉱山用爆薬などを製造、販売する企業グループの持株会社。同グループでは、炭鉱開発および石炭の販売も行なっている。	13.7%
MTN GROUP LTD MTNグループ	南アフリカ	無線通信サービス	南アフリカで、GSM 携帯電話ネットワークと関連サービスを提供する。アフリカのその他の地域でも携帯電話サービスを手掛けるとともに、衛星通信のプロバイダーであるオービコムを経営する。	12.8%
STANDARD BANK GROUP LTD スタンダード・バンク・グループ	南アフリカ	商業銀行	金融サービス持株会社。個人、企業、商業、マーチャント向けバンキング、保険ブローカー、ミューチュアルファンド管理、不動産ファンド管理などを手掛ける。	6.2%
ARCELORMITTAL SOUTH AFRICA LTD アルセロール・ミッタル・サウス・アフリカ	南アフリカ	金属・鉱業	鉄鋼メーカー。南アフリカ全域で運営する製鉄施設において、平鋼、長鋼、圧延コイルを生産する。同国シシェン鉄鋼山の鉱業権も一部保有する。	4.9%
IMPALA PLATINUM HOLDINGS LTD インバラ・プラチナ・ホールディング	南アフリカ	金属・鉱業	南アフリカの鉱業持株会社。プラチナ、バナジウム、ニッケルなどの金属を採鉱、生産、販売を行なっている。プラチナ鉱山の経営も行なっている。	4.8%
TELECOM EGYPT テレコム・エジプト	エジプト	各種電気通信サービス	エジプトの通信サービス会社。住宅・商業用通信サービスとプリペイド式テレホンカードを提供する。	4.7%
AVENG LTD アヴェング	南アフリカ	建設・土木	建設・土木持株会社。グループ子会社を通じてセメント生産、鉄鋼処理、建設、不動産開発および土木事業を行なっている。	4.4%
AFRICAN RAINBOW MINERALS LTD アフリカン・レインボー・ミネラルズ	南アフリカ	金属・鉱業	南アフリカの鉱業持株会社。グループ会社である鉱山会社を通じて、鉄、プラチナ、金、卑金属類の採掘を行なっている。	4.3%
COMMERCIAL INTERNATIONAL BANK コマーシャル・インターナショナル銀行	エジプト	商業銀行	エジプトの法人向け銀行。大企業、多国籍企業、合併企業などに融資および証券ブローカー・サービスを提供する。カイロとアレキサンドリアを中心に支店網を持つ。	4.1%
SANLAM LIMITED サンラム	南アフリカ	保険	南アフリカの金融サービス・グループ。子会社を通じ、生命保険、退職年金、ユニット型投資信託、健康保険、従業員給付などの商品を手掛ける。証券取引、短期保険、商業銀行分野の企業にも出資する。	3.6%

（注）上記は、当ファンドの投資対象である「野村アフリカ株投資マザーファンド」の組入上位銘柄です。組入銘柄数は43銘柄です。

（注）上記のコメントなどは特定の銘柄の価格上昇・価格下落を示唆するものでも、その推奨を目的としたものでもありません。上記は過去の運用実績であり、当ファンドの将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

（出所）ブルームバーグデータ等より野村アセットマネジメント作成

当資料は、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。当ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に投資します（また、外貨建資産に投資しますので為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目録見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

## 《お申込みメモ》

●信託期間	平成29年11月17日まで(平成20年3月6日(木)設定) なお、ファンドの残存口数が20億口を下回った場合等は、信託を終了させる場合があります。
●決算及び分配	年1回の決算時(原則11月17日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に分配方針に基づき分配します。
ご購入時	●お買付価額 <当初申込期間(平成20年2月25日(月)～平成20年3月5日(水)中にお申込みの方へ> 1万円＝1万円 ※お買付代金は平成20年3月5日(水)までに販売会社にお支払いいただきます。 <設定日(平成20年3月6日(木))以降にお申込みの方へ> お買付のお申込み日の翌営業日の基準価額 * お買付代金は、原則としてお買付のお申込み日から起算して8営業日目までにお申込みの販売会社にお支払いいただきます。
	●お買付単位 ①一般コース:1万口以上1万口単位(当初元本1口＝1円) ②自動けいぞく投資コース:1万円以上1円単位 * ①または②のいずれかでお申込みください。なお原則として当初お申込みいただいた①⇔②間の事後の変更はできません。 * ②の分配金は税引き後に無手数料、1口単位で再投資されます。
ご換金時	●ご換金価額 ご換金のお申込み日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額 * ご換金代金は、原則としてご換金のお申込み日から起算して8営業日目からお支払いいたします。 * 原則として1日1件3億円を超えるご換金は行なえません。
	●お申込み不可日 販売会社の営業日であっても、以下のいずれかの条件に該当する場合、各お申込みの受付はできません。 ・ 申込日当日がヨハネスブルグ証券取引所の休業日と同日である場合。 ・ 申込日当日がファンドの決算日の前々営業日と同日である場合。

課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の個別元本超過額に対して課税されます。
------	---

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 《当ファンドに係る費用》

●お買付手数料	—お申込み時にご負担いただきます。— お買付価額に3.675%(税抜3.5%)の率を乗じて得た額をご負担いただきます。
●信託報酬	—ファンド保有期間中に、期間に応じてかかります。— 純資産総額に対して年2.1%(税抜年2.0%)の率を乗じて得た額とします。
●その他の費用	—ファンド保有期間中に、その都度かかります。— (運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。) ・ 監査費用 ・ 組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料 ・ 外貨建資産の保管等に要する費用 等
●ご換金手数料	—ご換金時にご負担いただきます。— なし
●信託財産留保額	—ご換金時にご負担いただきます。— 1万口につきお申込み日の翌営業日の基準価額に0.5%の率を乗じて得た額とします。

※お客様には上記の費用をご負担いただきます。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「費用・税金」をご覧ください。

金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、買付及び換金のお申込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた買付及び換金のお申込みの受け付けを取り消す場合があります。

### ファンドの関係法人

<委託会社> 野村アセットマネジメント株式会社  
(ファンドの運用の指図等)

<受託会社> 野村信託銀行株式会社  
(ファンドの保管、管理業務)

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎ 0120-753104

<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時(半日営業日は午前9時～正午)



★インターネットホームページ★  
www.nomura-am.co.jp/



★携帯サイト★  
www.nomura-am.co.jp/mobile/



当資料は、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。当ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に投資します(また、外貨建資産に投資しますので為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。